

## 令和2年度 小山地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和2年10月29日(木)午後7時から午後8時34分まで
- 2 場 所 小山公民館大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、森副市長、藤田中央区長、石井市長公室理事  
山口広域交流拠点推進部長、大島中央区副区長  
渡邊市民局長
- 4 出席委員等 21人
- 5 傍聴者 1人
- 6 懇談会の要旨

テ - マ	相模原駅北口地区のまちづくりと地区内の安全・防犯対策を含めた相模原駅周辺のまちづくりについて
概要	<p>今後の相模原駅北口地区のまちづくりについては、5月に発表された「相模原駅北口地区のまちづくりコンセプト」をもとに、市民の意見を聞きながら土地利用方針を策定していくとのことである。コンセプト検討の基礎資料とすることを目的としたアンケートの対象者は無作為に抽出された市民、高校の生徒や教師、相模原駅の利用者やイベントの参加者だったと伺っているが、一部返還地に隣接する小山地区の住民を対象にした調査は実施されておらず、コンセプト策定に当たって地域住民の意見が反映されていないように思える。相模総合補給廠一部返還地は、市民全体の資産として考えなければならないことは承知しているが、その土地利用方針の策定において、生活に直接関係する小山地区の住民の意見をどのように聞き、土地利用方針に反映していく考えなのかを伺いたい。</p> <p>小山地区内では、近年の道路整備に伴い、交通量の増加が感じられる。今後も相模原スポーツ・レクリエーションパークの順次供用開始や道路整備計画の進行に伴って、さらに自動車や自転車、人が増加することが想定され、これまで以上に交通安全対策及び防犯対策が必要になると考える。歩道を含む道路などの環境整備とともに道路の通行に規制を設けることや防犯に対する措置なども必要と考えるが、市にはどのような考えがあるのかを伺いたい。</p> <p>南北道路を夢大通りへ接続することは、小山地区から数年に亘って切望している事項であり、広域交流拠点としての相模原駅周辺のまちづくりにおいても、駅南北の一体的な利用は重要であると考え。昨年、踏切を活用した南北一体化に資する方策について関係機関と協議を進め、例えば一方通行を設定するなど、様々な方法を検討し直すとの話があったが、現在の状況を伺いたい。</p>
地区の取組状況等	<p>小山地区は相模総合補給廠に隣接する地区として、一部返還決定以前からこの問題に取り組み、平成19年3月には地域住民で組織した「住みよい小山をつくる会」で一部返還後の土地利用について地区内の住民へのアンケートを実施し、会議等での検討を重ねた結果を「相模総合補給廠一部返還に伴う跡地利用に関する意見書」として提出するなど、相模原市への意見や具申を行ってきた。</p> <p>相模原駅周辺のまちづくりや一部返還地の利用については、数年に亘り、まちづくり懇談会のテーマとして取り上げている。</p> <p>平成30年度に取りまとめた「次期総合計画・都市計画マスタープラン 小山</p>

	<p>地区まちづくり報告書」においても、地区の重点項目として提言している。</p>
<p>市の取組 状況等</p>	<p>まず、地区の皆様の意見を土地利用方針にどう反映していくかについてである。相模原駅北口地区については、駅施設内にイメージパスを掲示するなどの取組を進めてきたが、周辺に同種の施設が出来たことや社会情勢の変化などから当初想定していたコンベンション施設等の計画には至らず、改めて検討を行うこととし、本年5月に公表した「多様な交流が新たな価値を生み出すライフ×イノベーション シティ」というコンセプトを基に土地利用方針の策定に着手する。</p> <p>駅北口地区の土地利用方針は、学識経験者、関係団体、市民等で構成する相模原駅北口地区まちづくり推進会議で検討を行う。このまちづくり推進会議には地元代表として、地元自治会や商店会で構成する相模原駅周辺まちづくり推進連絡協議会のメンバーにも参加をしていただく予定である。駅北口地区のまちづくりの検討には地元意見も重要と考えているため、推進会議での意見も踏まえ、地域の皆様との意見交換や情報共有について検討しながら取り組んでまいりたい。</p> <p>次に、相模原スポーツ・レクリエーションパークの供用開始等による交通量の増加に伴う交通安全対策や防犯対策の必要性についてである。11月14日の一部供用開始を皮切りに様々な施設が順次供用開始され、将来的には周辺道路の整備が行われていく中で、交通安全対策は非常に重要だと認識している。</p> <p>南北道路の暫定整備の際には、相模原スポーツ・レクリエーションパークの供用開始による交通量の増加も考慮しながら交通管理者である警察と協議を行った上で整備を実施した。相模原スポーツ・レクリエーションパークの暫定供用時の臨時駐車場や、完成時における駐車場への出入り口や駐車場の計画等も警察と協議を行いながら歩道等の通行の安全に配慮した形で整備を行う予定である。</p> <p>周辺のまちづくりにおける今後の道路整備も安全第一で取り組むことが重要だと考えている。まちづくりの土地利用方針等の策定を進める中で、歩行者・自転車等の交通空間の確保を含め、関係機関と協議しながら検討を進めたい。</p> <p>次に、地域の防犯対策についてである。市民の安全・安心を確保するため、啓発看板の設置のほか、相模原警察署においてパトロール強化に努めていただいている。また、小山地区の皆様や相模原警察署の要請を受けて、南北道路と東西道路を囲む3箇所に防犯カメラを設置し、犯罪抑止に取り組んでいる。今後も警察等の関係機関と連携しながら、パトロールの実施や地域の防犯活動の支援に努めていきたい。</p> <p>最後に、南北道路を夢大通りへ接続することについてである。</p> <p>市広域交流拠点整備計画において、相模原駅南北の一体化はまちづくりにおいて非常に重要であることから、横浜線の連続立体交差化の検討を進めてきたが、長期的な時間軸で判断するため、全面返還を見据えて実施の判断をすることとなった。</p> <p>暫定的な検討として、相模原踏切の改良による相互通行の視点から南北一体化の検討を進めてきた。南北道路の端を数十メートル延伸し、相模原踏切へ接続することで、容易な交通が可能になるという皆様の要望は理解しているが、これまでの調査により、相互通行による踏切の開放は、交通量の増加により周辺に影響を及ぼす渋滞が発生することや、交番前の出入り口からバスが出られなくなる状況が予想されることから、昨年度、開放は困難である旨のご説明を差し上げてお</p>

	<p>り、その際に、今一度様々な検討を行うこともあわせてお約束した。</p> <p>昨年度来、相模原踏切について、規制をかけつつも通行することが可能かどうかの検討をしてきた。まず、南口から北口への一方通行規制については、相互通行と同様に、踏切から南側の交差点を超える渋滞が発生し、周辺交通に多大な影響を及ぼすため困難である。北口から南口への一方通行についても、国が指定する歩行者ボトルネック踏切という安全上問題のある踏切になってしまう可能性が高い。また、踏切の安全性を確保するための車両の通行時間規制について検討したところ、一方通行規制に加えて朝7時から9時、夕方17時から19時の間に車両通行を禁止することでボトルネック踏切の可能性を解消できると考えられたが、車両通行禁止の時間帯は一般利用者や踏切直近の病院利用者等の自動車での利用は不可能となり、利便性の向上に繋がらない結果となってしまう。</p> <p>検討に当たっては神奈川県警本部との協議も行ったが、規制は道路構造やボトルネック踏切をカバーするためのものではないとご指摘をいただいた。あわせて相模原踏切の利用状況を改めて確認したところ、一方通行の設定により病院利用者が遠回りをしなければならないことや、緊急車両の通行に支障が出るなどの様々な影響があることが判明した。また、本年1月には歩行者交通量の増加から、当該踏切が歩行者ボトルネック踏切に該当するとの指摘を受けたところであり、このような状況から、南北道路と相模原踏切を接続することは困難であると判断した。</p> <p>次に、現在病院の手前で行き止まりになっている南北道路を延伸し、もう少し駅近くで乗降できないかという視点から検討を行った。現在ロータリーとなっているところに進入できるようにし、小山踏切方面に抜けて行くイメージだが、駅利用者以外の方の安全上の観点からこちらについても難しいと考えている。</p> <p>最後に、南北道路を補給廠の返還地の中へ曲げ、駅に近づける検討も行ったが、補給廠には現在も米軍施設の建物が残っており、解体等の必要があるため、多額の事業費が必要となってしまう。このことから、早期の実現は不可能という結論に至った。</p> <p>相模原駅南北の連携強化は重要であると認識しているため、今後、駅北口地区のまちづくりを進める上で引き続き検討を行い、情報提供を行っていきたいと考えている。(都市建設局)</p>
--	--

懇談内容	
地区の発言	<p>相模原駅北側と南側の交通を遮断してしまうことには納得できない。例えば駅北側に神奈中のバスロータリーを持ってくるなどの大胆な方法を考えても良いのではないか。</p>
市の発言	<p>検討を行う中での一つの視点として時間規制を伴う方法について説明を差し上げたが、踏切の改良や交通規制を行うことにより、車両が南北を行き来できるようにすることは困難であるとの結論を得た状況であり、現在の歩行者及び病院利用者の車や緊急車両の往来は現状のまま継続することと考えており、遮断すると考えているわけではない。</p> <p>相模原駅南口には一日約600台のバスが出入りしており、中でも南方面に向かうバスの本数が多く、利用者も多いため、駅の北側にバスロータリーを動かす</p>

	<p>のは困難であると考えている。</p> <p>駅北口地区の15ヘクタールについては、将来的には小田急多摩線の延伸も視野に入れながらまちづくりを進めていく必要がある。その際にはバスロータリーや駅前広場などもしっかりと整備していきたいと思うので、まちづくりの中で改めて検討させていただく。(都市建設局)</p>
市の発言	<p>駅北口地区については加山前市長の時代から様々な施策について調査を進めてきたが、現在も検討中の施策に横浜線の連続立体交差化がある。</p> <p>補給廠の返還が進む中では、まず、15ヘクタールのまちづくりについて対話をしながら方向性を決めていきたいと思っており、令和4年度には国有財産審議会に諮問を行う予定である。まちづくりを進めていく中でまちが南北に分断されるようなことがないよう、多額の予算を要するところではあるが、しっかり行き来のできるまちづくりを検討していきたい。</p> <p>南北道路から夢大通りへの接続が難しいということで、南北道路から北側ロータリーに直接進入する道路の検討なども行ってきたが、補給廠の中に現存する米軍施設の撤去にも多額の費用がかかってしまう。費用対効果の視点からも、何を優先して整備していくかというのは1つの大きな課題だと考えている。</p> <p>本市の道路整備については、現在、28箇所を優先的に事業を進めており、様々な場所で分散して整備を行っていたため、中々進んでいかない状況にあった。宮下横山台線や宮上横山線などの主要道路に繋がる重要な路線については選択と集中の考えの下で投資をし、令和の早い段階で供用開始できるように進めていきたい。(市長)</p>
地区の発言	<p>市が市民の声を聞くのは当然だと思うが、それと同時に市民を動かすように働きかけるのも非常に重要なことではないかと思う。</p> <p>一例として、駅北口地区の南北道路についてである。折角道路が出来たのに、基地と道路の緩衝地には草がぼうぼうに生えたままである。一見、非常に便利になったが、女性が深夜に通るとなると怖くて歩けず、従来の道を通るしかないという声も聞いている。</p> <p>住民自身が夢や希望を持てるまちにするためにも、市が施策を行うだけでなく、地域にも参加・協力してもらい、一緒にやっていく、考えるという方向性が非常に重要ではないかと思う。そのためにも、市には、市民を動かす、巻きこむ方法を考えていただきたい。</p>
市の発言	<p>道路の管理などに関して、地域の方々と一緒に取り組んでいる事例が多くある。制度として街美化アダプトという制度もある。どういうふうになればよりよい地域にしていけるか、皆様と相談しながら進めていきたい。(中央区役所)</p>
市の発言	<p>市民の皆様にもまちづくりに参加いただくというのは非常に重要な視点であるため、引き続き対話をしながらまちづくりを進めていきたい。</p> <p>今後、庁内分権を進め、区長の権限を明確にしていきたいと考えている。これまでは区長が持っている予算は少なかったが、今後は区長にも予算を持っていただき、まちづくりの判断をしていただけるようにしたいと考えている。</p> <p>具体例を挙げると、今年度は、有害鳥獣に関する予算を緑区長に移管した。来年度以降も少しずつになるかもしれないが、権限を各区に移譲し、よりスピーディかつ柔軟な対応ができるようにしていきたいと考えている。(市長)</p>

地区の発言	<p>庁内分権の話についてだが、緑区ではすでに適用されているということか。中央区と南区も今後同じような扱いになるということか。</p>
市の発言	<p>庁内分権については、鳥獣被害が喫緊の課題であった緑区について、先行して有害鳥獣に関する権限の移譲を行った。区長裁量予算や区役所機能の強化については現在議論をしており、来年度以降協議が整ったものから行っていく。</p> <p>現状では、緑区への有害鳥獣関係事務以外だと、田名の花火大会や、上溝の夏祭りなどの大規模な観光事業について中央区役所に事務移管されている。(中央区役所)</p>
市の発言	<p>今年度は有害鳥獣の権限を緑区に、観光関連の権限を3区に移譲した。来年度はさらに機能強化する予定で、これをどんどん増やしていき、最終的にはもっと区の特徴を出した区政運営をしていけるようにしたい。(市長)</p>
地区の発言	<p>公立中学校を小山地区内に作って欲しい。地区内に小学校はあるが、中学校がないため、小学校の頃からあえて他地区の小学校に通わせる家庭もあると聞いている。昨今は子ども会の減少も顕著で、中学校が地区内にないことも相まって、地域内での繋がりが作りにくい実感がある。</p> <p>現在、地域の避難所は向陽小学校に指定されているが、あえて異なる小学校に通う児童がいる場合、有事の際に家庭内で避難場所が違うという悲しい状況が発生してしまう。もし地区内に公立中学校ができれば、こういったことも解消に向かうと考えられる。</p>
市の発言	<p>現在、市内には小学校が70校、中学校が35校、義務教育学校が1校で合計106校の公立学校があるが、津久井地区や光が丘地区、相武台地区では高齢化が進んでおり、学校の再編等の議論が始まっている。</p> <p>今後、他地区でも人口減少が進むと思われるため、現時点では難しいが、例えば補給廠返還地の活用により人口が増えれば可能性は出てくると思う。(市長)</p>
地区の発言	<p>幼少から補給廠を見て育ってきたため、そのうち15ヘクタールが返還されたのは素晴らしいことだと感じている。しかし、折角返還されたのだから、問題があるのもわかるが、それを解決し活用していくのが市の責務ではないかと思う。</p> <p>小田急多摩線の延伸や横浜線の連続立体交差化もいいが、やはり、まずは南北道路を夢大通りに繋げることである。バスターミナルやタクシー乗り場を北口に持って行くのも難しいという話だったが、広い道路を繋げさえすれば可能なことだと思う。</p> <p>最初から難しいというのではなく、こうすればできるというものを考えてもらい、一歩ずつでも前進してもらいたい。</p>
市の発言	<p>皆様の熱い思いは把握させていただいた。今後、まちづくりを進めていく中でしっかりと取り組んでまいりたい。(都市建設局)</p>

<p>市の発言</p>	<p>一部返還地のまちづくりに合わせて、南北の一体感を高めて欲しいとの思いがあることは改めて受け止めているところである。</p> <p>補給廠共同使用区域のうちの一部は、相模原スポーツ・レクリエーションパークとして11月14日から供用開始される。実際に確認された方もいるかもしれないが、相模原スポーツ・レクリエーションパークにはユニバーサルデザインの遊具を設置しているため、障がいのある方・ない方問わず楽しむことができる。これは、あらゆる人を受け入れるユニバーサルな社会を身近なところから作っていきこうという考えの表れである。</p> <p>補給廠の西側を取り巻くように位置する小山地区であるが、15ヘクタールの返還をさらに未来へ繋げていくのも重要なことであると考えている。まちづくりには最低でも10年20年という長い時間がかかるため、南北一体化についても少し時間を頂いて、長期的なスパンの中でどのような形が合理的かつ効果的かを皆さんと一緒に考えていきたい。</p> <p>南北道路の除草について、地域の皆さんと一緒に取り組んではどうかというご提案を頂いた。これはまさに私たちがこれから目指す形の1つだと思うので、日頃の市政の取組についても引き続き皆さんと一緒に進めていきたい。（副市長）</p>
<p>地区の発言</p>	<p>先日相模原スポーツ・レクリエーションパークの内覧会に参加したが、遊具の下がクッションになっているようだった。怪我をしないようにという配慮か。</p>
<p>市の発言</p>	<p>砂場を中心に、仮に落ちて怪我をしないような配慮をしている。子どもが遊ぶ場所と合わせて、幅広い年代が楽しむことができる健康遊具も配置させていただいているので、是非現地に足を運んでいただければと思う。</p> <p>まだまだ改善点はあるかと思うが、少しお時間をいただきたい。また、気付いた点があれば教えていただきたい。（副市長）</p>
<p>市長の感想等</p>	<p>市長として、子どもたちへの教育や子育てに注力していきたいと思っている。特に、家庭環境に左右されずに学べる環境づくりをしっかりと応援していきたいと思っている。本市ではプログラミング教育が盛んであるが、子ども9.1人あたり1台しかPCタブレットがない時期があったため、就任以降様々な方向から働きかけ、生徒・児童全てにPCタブレットが行き渡るように努めてきた。今後は更に授業形態も変わってくると思うが、子どもたちの未来のためにも引き続きご支援いただきたい。</p> <p>小山地区にとって補給廠や、南北一体のまちづくりは非常に重要である。主要幹線道路の整備についても今後鋭意進めていくが、来月、相模原市米軍基地返還促進等市民協議会として、基地返還や騒音問題等について関係機関へ要望する予定である。</p> <p>また、11月14日から供用開始される相模原スポーツ・レクリエーションパーク内には、1.4ヘクタールの天然芝生広場があり、これは麻溝公園に次ぐ市内で2番目に広い芝生広場となる。また、ユニバーサルデザインの遊具を配置していることもあり、様々な人に楽しんでいただける場となっていると思う。</p> <p>供用開始後には色々な改善点が出てくると思うので、是非現地を見た上で声を聞かせていただき、今後に生かしていければと思う。</p>